

第十九卷第二、三號

通刊第八十五號

物理化學の進歩

編輯主幹 堀場 信吉 (京都) 鮫島實三郎 (東京)

昭和二十年五月

原 報

目 次

航空燃料の發火待時間溫度曲線 (I) 空氣中に於ける測定	山 北 逸 郎...	69
航空燃料の發火待時間溫度曲線 (II) 酸素氣流中に於ける測定	山 北 逸 郎...	85
航空燃料の發火待時間溫度曲線 (III) 發火待時間溫度曲線より オクタン價の評定	山 北 逸 郎...	98
アセトアルデハイドの酸化反應 (I) 冷焰を伴ふ爆發反應の誘 導期間に就いて	八 木 三 郎...	106
アセトアルデハイドの酸化反應 (II) 冷焰を伴ふ爆發反應に對 する添加瓦斯の影響	八 木 三 郎...	115

日本物理化學研究會刊行

京都帝國大學理學部物理化學研究室內

[illegible]

梅津正雄	加藤太郎	丸芳十郎	日本輕金屬株式會社	泉國第2818工場
鹽野良之助	加藤第6571工場	越後谷悦郎	房村信雄	神東鹽料株式會社
加田稔	田中四郎	山田崎正隆	坂野武	上原陵一
三浦政治	中村暢夫	宮崎孝正	森島三郎	三木孝造
大熊喜隆	吉川太三郎	岡田孝高	尾崎徳郎	萩原正久
本田英昌	細野欣哉	赤福助	石川建	伊川正文
金子義久	富士フィルム株式會社	藤村功	藤田功	三枝文勇
菅孝男	須貝金次郎	高柳五司	成田一	山川村修
毛利廣賢	田邊振太郎	阪大産研高分子	飯島俊一	前田祥三
東洋高壓工業株式會社		林喜世茂	中里又三	堀田寛
理化學研究所足立工場		杉山産業化學研究所	戸田英夫	黒部名修
太田修	三宅良一	伊東健夫	染野藤子	黒山賀正
今瀬敏一郎	松浦新平	輕部末辰	三金子正秀	古東亞化學興業
横山隆一郎	結城井舜	杉古新	昆吉	橋壽郎
木村三郎	濱田三郎	小田正	岩井信次	關西學院専門學校理工科
對島敏次	深弓内久雄	三菱化成工業株式會社	山本昇	福第8〇三工場
九山謙信	香掛一雄	安田勝幸	黒部隆三	若川吉一
熊千九藏	石川村周	小林理學研究所	渡邊恭三	川松幸治
西平照男	中皇國第406工場	木岡傳次	三菱化成大竹工場	大横田排己
森井武雄	井太演	鶴見克己	林野清	鳥永勝
有井發己雄	猪股謙次郎	横井忠重	小松道夫	大塚喜八郎
皇國第3085工場	細原匡一	酒井篤	木下昌三	上千賀右市
大勝義孝	黒岩幹義	石橋記念圖書館	高眞國	長崎醫大グロ文庫
大河原六郎	川原風策	金子曾政	林宮大	大島英夫
住友化學工業株式會社	川原良敏	養部古根	宮内藤岡	中佐藤重
香山勸雄	若金高	古根小田	大齋常佐	黒野井丸
高橋武雄	水枝永夫	瀧井	谷瀬	小野正
水産油化學工業	朝田五八	福宜田久男	滿洲製鐵株式會社	滿洲輕金屬製造株式會社
三菱田秀男	速朝	帝國人絹廣島研究所	谷口績良	千手諒一
有田良雄	武田文敏	坂寺山入	後土松宮	松村茂
寺田彰	梅田三			箕電化研究所
富宋英俊	笠原五十			旭橋爪
皇國第4755工場				
川野義男				
原保田賢三				
久谷正知				
本多文泰				

矢野正幸	鯨井忠五	小川和彦	電氣化學工業株式會社	木越邦彦
松井清忠	田中正司	滿洲石油株式會社	春日井佐太郎	石井健三
相原壽喜男	井上濱	谷野良三	岸本長彦	福田雅太郎
多羅間公夫	米田幸夫	第四陸軍技術研究所	今井和雄	南滿洲製鐵株式會社
谷口政勝	日本揮發油株式會社	正田芳郎	末廣良行	川見民雄
小西發	加藤貞武	西垣貞男	長谷川繁夫	菊池大尉
竹中治夫	牧角象三	小安省一郎	宗像英二	平田和民
津田野勇	桑島謙臣	鈴木松一	美坂哲男	藤田敏郎
瀧本恒太	及川浩	和田弘	日東化學工業八戸工場	品部通孝
須賀正夫	二宮敏夫	(以上二十年度)		
南滿洲鐵道株式會社		末廣良行	和田弘	(以上二十一年度)
(終身會員)	武者宗一郎	久野洋	中野正雄	濱島求女
竹中治之				

昭和二十年四月一日——昭和二十年十月三十一日迄 新入會員

普通會員

可知祐次	京都市左京區下鴨西梅木町38	京都帝國大學理學部化學科學生
横田範之	京都市左京區小倉町50石山方	京都帝國大學理學部化學科學生
淺田四郎	京都市左京區吉田二本神16白井方	京都帝國大學理學部化學科學生
喜安林三	左京區淨土寺西町97蜂谷方	京都帝國大學理學部化學科學生
北林俊司	北海道函館市外五稜郭驛前	函館水産専門學校化學教室
武者宗一郎	濱松市元城町194鈴木方	濱松高等工業學校應用化學科
山崎進	島根縣安濃郡長久村大字土江119	
熊野啓一	香川縣坂田市東大濱	豐年製油株式會社坂出工場
間瀬泰男	兵庫縣飾磨郡廣畑町	
南良昌	兵庫縣飾磨郡廣畑町	
桐原朝夫	仙臺市片平町	京都帝國大學理學部化學科學生
大阪帝國大學産業化學研究所高分子化學協會大阪研究室		堺市北花田町555
東亞化學工業株式會社	東京都澁谷區代々木	
小林理學研究所	東京都北多摩郡國分寺町大字國分寺	
平形照男	尼ヶ崎市高田字川田所10	武田化學藥品株式會社尼ヶ崎工場
九州配電株式會社電氣研究所	福岡縣粕屋郡多々良村大字名島字下新開2233	
川西航空株式會社	兵庫縣武庫郡鳴尾村	
滿洲製鐵株式會社	通化省通化市二道江區	
濱田文將	福岡縣糟屋郡古賀町國鐵驛前酒井方	九州帝國大學理學部化學科
關厚二		京都帝國大學工學部纖維化學
宇田弘	京都市左京區上高野大橋町松山方	京都帝國大學工學部化學科學生
蒔田重	京都市左京區北白川上終町	京都帝國大學理學部化學科學生
熊澤喜太郎	京都市左京區下鴨宮崎町23上島方	京都帝國大學理學部化學科學生
上村久生	京都市左京區田中大樞町長尾方	京都帝國大學理學部化學科學生
藤堂尙之	京都市左京區田中飛鳥井町木島方	京都帝國大學理學部化學科學生
黒川俊郎	京都市上京區五辻通七本松西入上ル中老松町須賀方	京都帝國大學理學部化學科學生

平 位 純 男	京都市左京區田中飛鳥井町杉岡方	京都帝國大學理學部化學科學生
箕 村 茂	京都市上京區榮野下柳町	京都帝國大學理學部化學科學生
鈴 木 健 一	京都市左京區淨土寺西田町	京都帝國大學理學部化學科學生
依 田 篤 信	京都市左京區田中樋口町大久保方	京都帝國大學理學部化學科學生
山 下 茂	京都市左京區淨土寺石橋町池田方	京都帝國大學理學部化學科學生
中 西 亥	京都市上京區小山初音町33	京都帝國大學理學部化學科學生
河 波 順 一	京都市左京區淨土寺眞如堂町46土居方	京都帝國大學理學部化學科學生
日 下 讓	京都市左京區北白川上池田町吉村方	京都帝國大學理學部化學科學生
濱 田 巖	京都市左京區北白川西平井町大西方	京都帝國大學理學部化學科學生
石 津 淳 史	京都市左京區南禪寺北之坊町別所方	京都帝國大學理學部化學科學生
田 中 穆	京都市左京區下鴨宮崎町南部木下方	京都帝國大學理學部化學科學生
波 多 野 登	京都市上京區北野紅梅町34	京都帝國大學理學部化學科學生
益 田 恭	京都市東山區山科上野御所内町	京都帝國大學理學部化學科學生
森 田 柱	京都市上京區寺町東樓町廣小路アパート内	京都帝國大學理學部化學科學生
石 村 登	京都市左京區下鴨蓼倉町小池方	京都帝國大學理學部化學科學生
福 原 幸 輝	京都市左京區田中東春菜町植實方	京都帝國大學理學部化學科學生
市 川 寛	京都市左京區吉田本町貝下方	京都帝國大學理學部化學科學生
沖 田 正 日	京都市左京區吉田泉殿町西岡方	京都帝國大學理學部化學科學生
藤 井 毅 彦	京都市左京區吉田近衛通京大宿舎	京都帝國大學理學部化學科學生
神 田 一 男	京都市左京區淨土寺石馬町	京都帝國大學理學部化學科學生
山 本 勇 麓	京都市左京區北白川葛町御蔭寮	京都帝國大學理學部化學科學生
相 田 協	京都市左京區淨土寺眞如町土居方	京都帝國大學理學部化學科學生
濱 村 卓 也	京都市上京區等持院南町38	京都帝國大學理學部化學科學生
笠 原 三 千 世	京都府乙訓郡大山崎村宇山崎	京都帝國大學理學部化學科學生
織 田 善 次 郎	京都市左京區吉田本町平瀬方	京都帝國大學理學部化學科學生
原 啓 次	大阪市岸和田市岸城町1902	京都帝國大學理學部化學科學生
松 木 巖	京都市左京區吉田本町坂野方	京都帝國大學理學部化學科學生
道 田 渡	大阪府南河内郡赤阪村大字水分	京都帝國大學理學部化學科學生
西 田 實	京都市中京區西ノ京池田町	京都帝國大學理學部化學科學生
松 木 一 也	京都市左京區田中西樋口ノ町杉本方	京都帝國大學工學部冶金科
岡 輝 男	京都市左京區田中西樋口ノ町27杉本方	京都帝國大學理學部化學科學生
高 橋 清	京都市右京區龍安寺西ノ川町	京都帝國大學工學部冶金科學生
譽 田 周 郎	京都市左京區北白川伊織町	京都帝國大學工學部冶金科學生
吉 川 嘉 信	京都市左京區淨土寺南田町中村方	京都帝國大學工學部工機化學科學生
友 田 宜 忠	千葉市稻毛町二丁目陽光園方	東都帝國大學第2工學部
芝 野 泰 明	京都市東山區泉涌寺東村町	理工科大學化學科學生
久 江 恒 夫		京都帝國大學工學部燃化學
林 潤 川	福岡縣糸島郡深江村大字片山1731平田方	九州帝國大學理學部化學科
東 和 彦	東京都中野區野方町一丁目	東京工業大學附屬工業專門學校
稻 垣 達 雄	神奈川縣鎌倉郡片瀬町南濱	
桑 田 弘		京都帝國大學工學部燃料化學科學生
保 里 川 茂	長崎縣島原市上之町882	

日本物理化学研究会規則摘要

(主として會誌に關するもの)

- 第二條 本會ハ物理化學ニ關スル學術的研究ヲ獎勵シ其ノ發達ヲ圖リ將來吾國ニ於ケル獨創的化學工業ノ樹立助成ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的達成ノ爲左ノ事業ヲ行フ (中略) 三. 會誌「物理化學の進歩」及ヒソノ歐文號ノ刊行
- 第五條 會員ハ物理化學ノ研究ニ從事スルモノ又ハソノ進歩發達ニ關心ヲ有スル個人又ハ團體トス
- 細則第一條 會誌「物理化學の進歩」ハ左記内容ヲ有スルモノトス 一. 原報又ハ論說 二. 紹介又ハ講義 三. 抄録 四. 記事其ノ他
- 細則第二條 原報トシテ掲載スル研究論文ハ物理化學ニ關スルモノニシテ本會商議員又ハ大學教授ノ研究或ハソノ責任アル紹介ニヨルモノタルコトヲ要ス
- 細則第三條 會誌「物理化學の進歩」ハ會員ニ配布シ且ツ物理化學知識普及ノ目的ヲ以テ之ヲ發賣ス
- 細則第六條 會費ハ一ケ年金五圓トス 但シ本會費ハ會誌「物理化學の進歩」刊行費ニ充ツルモノトス
- 細則第八條 終身會費(個人)ハ金五拾圓トス 但シ既納ノ會費ヲ包含セス

昭和20年5月25日印刷

昭和20年5月30日發行

編輯發行所

編輯者

印刷所

物理化學の進歩

第19巻 第2,3號

(年6回刊行)

堀場 信 吉

京都帝國大學物理化學研究室

福井 松之助

京都市中區區神馬場三條南

(京都20) 株式會社 似玉堂

京都市中區區神馬場三條南

頒價一部 3 圓

(送料 20 錢)

發行所
(入會申込所)

日本物理化学研究会

東京・京橋 5047 番地
京 都 市 吉 田
京都帝國大學應應部物理化學研究室内
(日本出版會會員 No. 225416)

配 給 元

日本出版配給株式會社

販 賣 所

岩 波 書 店

東京部神田區一ツ橋二ノ三

丸善株式會社京都支店

京都市中區區河原町通地蔵邊

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by

Prof. S. Horiba, (Kyoto) and Prof. J. Sameshima, (Tokyo).

Vol. XIX, No. 2, 3

May, 1945

Contents

Originals

- I. Yamakita: Spontaneous Ignition Temperature Time Lag Curves of Aviation Fuels. I. The Measurement in the Air..... 69
- I. Yamakita: Spontaneous Ignition Temperature Time Lag Curves of Aviation Fuels. II. The Measurement in the Oxygen Stream. 85
- I. Yamakita: Spontaneous Ignition Temperature Time Lag Curves of Aviation Fuels. III. The Estimation of the Octane Value of the Fuels from the Curves. 98
- S. Yagi: The Oxidation Reaction of Acetaldehyde. II. The Induction Period of an Explosive Reaction with Cool Flame..... 106
- S. Yagi: The Oxidation Reaction of Acetaldehyde. III. The Effect of Wall on the Explosive Reaction with Cool Flame. 115

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan

主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

月 刊 化 學 評 論 一冊 78 錢 (外=送料 6 錢)
前金一年10圓08錢(送料共)

第 10 卷 第 7/8 號

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|------------|
| [379] | アルコールの脱水縮合に依る高級アルコール合成法 | 工 學 士 | 猪 野 孝 一 |
| [380] | 物理有機化学(Ⅲ) | 工 學 士 | 小 方 芳 郎(譯) |
| [381] | 脂肪酸及び油脂の接觸的熱分解 | 工 學 士 | 黒 木 宜 彦 |
| [382] | ヴィニル樹脂に就て(Ⅰ) | 工學博士 | 山 田 正 盛 |

第 10 卷 第 9/10 號

- | | | | |
|-------|--------------------------------|-------|------------|
| [383] | アルギン酸の化学と其應用 | 理 學 士 | 町 田 誠 之 |
| [384] | 接觸反應に於ける原子の空間配置と開鎖炭化水素の脱
水素 | 農 學 士 | 川村信一郎(譯) |
| [385] | 物理有機化学(Ⅳ) | 工 學 士 | 小 方 芳 郎(譯) |

第 10 卷 第 11/12 號

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|------------|
| [386] | オルガノ珪素化合物の化学—高分子化学より見たる— | 理 學 士 | 大 河 原 六 郎 |
| [387] | 物理有機化学(Ⅴ) | 工 學 士 | 小 方 芳 郎(譯) |
| [388] | 重合反應と鹽素化反應の比較考察 | 工 學 士 | 由 良 章 三 |

化 學 評 論 社

編 輯 所
京 都 市 吉 田 京 都 帝 國 大 學
工 業 化 學 教 室 喜 多 研 究 室
電 話 上 九 八 〇 番 (學 内 十 九 番)

發 行 所
大 阪 府 泉 北 郡 高 石 町 羽 衣 五 八
電 話 濱 寺 3 6 9 番

財團 法人 日本化學研究會編纂

主 幹 理學博士 眞 島 利 行

月 刊

日 本 化 學 總 覽

規格 B5 版・ハポイント横組・每號 70 頁内外

日本化學總覽は我が國に於て發表せる理・工・醫・藥・農の諸學術方面に亙る雑誌・報告書・特許公報等約 600 種 of 原報より化學關係の業績は總て迅速に要點を抄録報導す。一讀よく本邦化學關係研究の報告及特許等の内容を容易且つ最も經濟的に知悉し得べく、研究家、實際家並に發明家の研究工夫に裨益する處尠からざるべし。毎卷完全なる「著者名及事物索引」を附す、本總覽の活用上必要缺くべからざるものにして、蓋し本誌の一大特色とす。 内容見本通呈

會員 月刊雑誌「日本化學總覽」は本會會員に配布す。入會御希望の方は半ヶ年分以略規 上の會費を添へて直接本會に申込まれたし。

通常會員の會費一ヶ年分(前納の事 2 回に分納可)次の如し (索引配布) 11円

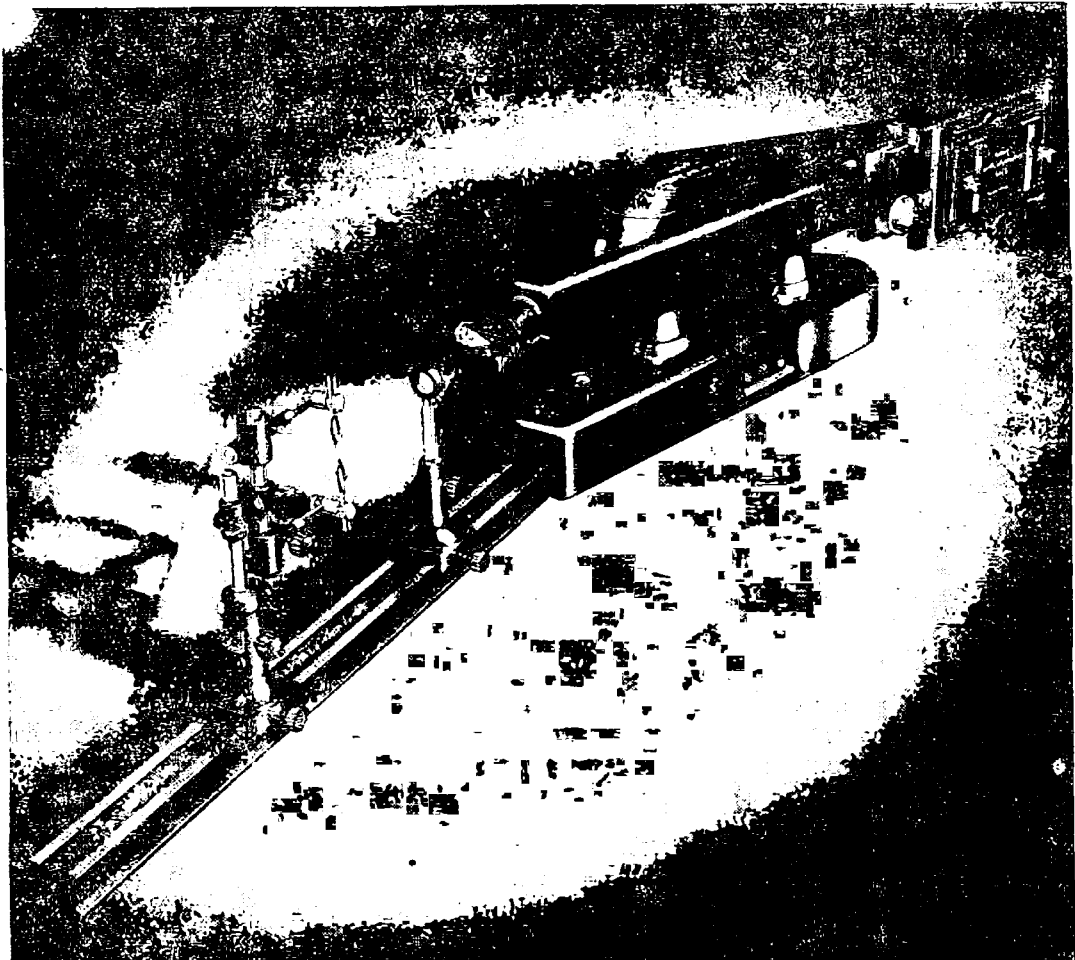
— 待望の 日本化學總覽 完備す —

第一集 第壹卷—第七卷 (7冊) 明治10年より大正15年まで50年間本邦に於て研究發表せる化學及關係學術の文獻及び發明者苦心の成果たる特許(特許番號 No. 1 より集録)の内容を抜萃して集載せるものなり

第二集 第壹卷—第十五卷 (15冊) 昭和元年以後の文獻を抄録集載す。昭和2年以來毎月發行せる總覽を分冊したるものなり

定價各冊 ¥ 12.50 送 料 ¥ .70

財團 法人 日本化學研究會 仙臺市東三番町一八七
振替仙臺8158・電話仙臺4461



島津分光分析装置

詳細型録送呈

島津製作所

京都・大阪・東京・福岡・新京・大連・奉天・北原・京城・臺北・名古屋・神戸